

3月6日(木) 13:30~15:30 会員限定

## あなたの最高色を見つけませんか

冬の講座ですぐ満席、ぜひ再度！の言葉を受けて企画しました。ご参加の方に似合う色や身に着けるとラッキーな色を診断する講座ですが、丁寧な対応をするので時間がかかります。「まさか私にこの色が似合うなんて！」とか「同じ色でも私は濃いめがフィットするんだわ」とか新発見にワクワクしながらこれからの人生が明るくなること請け合い。受講して輝く自分を見つけましょう。(今回も少人数で申し訳ないのですが、前回受講された方はご遠慮ください)



参加費 会員 3,000円 (診断料含む) 募集定員 6名限定  
講師 ツムシテック 美弥子 色彩講師・パーソナルカラーアナリスト

3月11日(火) 13:30~15:00 企画講座

## 山岳宗教 ~修験道 山伏の知られざる活動~

山伏修行によって超自然的な靈力を体得し、そして、呪術的な活動を行う「修験道 山伏」は、日本古来の山岳崇拜を基本とし、後に日本へ入ってくる、密教・道教・陰陽道などの外来宗教を取り入れ、平安時代末期に一つの宗教として確立されました。日本の歴史上、あまり重要視されなかった「修験道 山伏」について、歴史や組織・儀礼や思想など、概略を世義寺の竹内聖明住職に説明していただきます。



参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円  
講師 竹内 聖明 宗教法人真言宗 世義寺 住職

3月17日(月) 13:30~15:00 企画講座

## 伊勢神宮 御厨・御園めぐり その4

御厨・御園は伊勢神宮の神饌や経営資源などを供給する土地のことで、中世には全国40ヶ国に計600ヶ所以上存在しました。今回は東海地方、現在の静岡県掛川市に存在した「遠江国小高御厨」に関するあれこれを、和歌の家として有名な冷泉家に伝わる古文書の中から読み解いてみようと思います。

中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎！！

参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円  
講師 岡野 友彦 皇學館大学 文芸学部

3月24日(月) 13:30~15:00 企画講座

## 原敬と伊勢 ~日記に残された訪問記録~

大正時代の後半に、3年以上にわたって首相を務めた原敬。彼が残した伊勢の訪問記録を読みながら、その背景を探ります。原は非藩閥・朝敵藩出身にして爵位を持たない、初の「平民宰相」として知られます。また明治8年(1875)以降、暗殺される大正10年(1921)に至るまで、克明な日記を残したことで知られています。その日記を手がかりに、5回に及ぶ原の伊勢訪問の目的は何で、何を聞きましたのかなど、伊勢における彼の足跡をたどります。



参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円  
講師 谷口 裕信 皇學館大学 文芸学部国史学科 教授

3月25日(火) 18:30~20:30 企画講座

## 春の星見と暦の中の天文学

春の夜空には、冬から春にかけての賑やかな星座が見られます。さらに今年は木星と火星も加わって、豪華な星空になっています。レーザーで星座をたどったり、望遠鏡で木星などを眺めたいと思います。さらに3月は暦の上でキーになる月。大昔、一年のスタートは3月だったりしたのです。暦にまつわるさまざまな経緯や、天文学との関わりをお話ししたいと思います。



参加費 会員 1,300円 ビジター 1,800円 (五十鈴茶屋製の和菓子付)  
講師 毛利 勝廣 名古屋科学館 天文担当課長 学芸員 博士(学術)

4月3日(木) 11:30~14:30 特別講座

## 杉風荘で桜と庭園の話

日本人は桜にとっても思入れのある民族。桜便りが何よりの気かりですが最近三重県でもあちらこちらの桜が「元気がない」といわれています。そこに登場するのが樹木医の中村さん。宮川堤の桜、外宮近くのお屋根桜、白子の子安観音の不断桜などなど、原因を究明して適切な処置で蘇らせるのです。また2018年に百年ぶりに発見された野生の新種クマノサクラにも深く関係し今、普及に努めています。今回は松だけでも家一軒立つくらいとされる杉風荘の桜でお花見をしながら、その庭の話、三重県下の名庭のことなどをお話いただきます。

参加費 会員 4,500円 ビジター 5,000円 (すし久での花見膳料理代・茶菓代含む)  
講師 中村 昌幸 木楽Nakamura代表 樹木医 募集定員 15名  
集合場所 五十鈴塾 集合時間 11時20分 開催場所 杉風荘

4月8日(火) 13:30~15:00 企画講座

## 御師って何者? ~その実像を探る~

皆様も「御師」という名前は既にご存知のことと思います。また「御師」のことについて講演を聴いたり展示を見たこともあるでしょう。でも、何かどうもはつきりしない、よく分からないという感じがありませんか?丸岡さんは、御師邸の保存とともに「御師」の歴史や文化を紹介する活動を行っており、この講座では、皆様が感じている「御師」に関するモヤモヤとした疑問をスッキリさせて、その実像を少しでも理解していただけるよう解説してまいります。



参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円  
講師 丸岡 正之 NPO法人旧御師丸岡宗大夫邸保存再生会議 監事

4月9日(水) 13:30~15:30 企画講座

## オリジナルブレンド珈琲を作ろう③

最近は珈琲の専門店が多くなり、珈琲にこだわりを持つ方も増えているように思います。そこで今回は自分が好む珈琲の味を見つけて日頃の疲れを癒していただけたらと講座を企画しました。先生が厳選された珈琲豆を4~5種類味わい、その味をもとに各グループで珈琲豆の配合を決めてお好きな味のオリジナルブレンド珈琲をつくります。出来上がったブレンド珈琲はお持ち帰りいただけます。日頃、珈琲をあまり飲まない方も、自身のオリジナルブレンドで珈琲好きになってしまうかも?ぜひこの機会に珈琲ライフを楽しみましょう。

参加費 会員 2,800円 ビジター 3,300円 (材料代含む) 募集定員 16名  
講師 中村 雅則 中村珈房 店主 中村 純也 SCAJCOピー・マイスター

4月10日(木) 13:00~15:30 体験講座

## 水晶の輝きを放つペンダント

この講座では最高級とされているクリスタルガラスを使い、ペンダントトップを作ります。日本では水晶(クリスタル)のことをガラス(はり)といい、邪気を追い払い性質のある高貴な存在としてみなされ、七宝の一つです。クリスタルガラスは江戸切子や薩摩切子など硝子工芸にも使われている歴史ある素材です。キラキラしたものは金運・運氣アップや邪気払いなどに効果あるとか...※材料準備の都合により3/31月に申込みを締め切ります。お早目に申込みください



参加費 会員 4,400円 ビジター 4,900円 (材料代含む)  
講師 中谷 幸美 一般社団法人日本グローテコ JGA認定講師 募集定員 10名

4月14日(月) 11:00~13:30 特別講座

## 地産地消 洋と和の饗宴

地元でとれた野菜・米・魚・肉など産直品を売るお店が増えています。三重は食材の宝庫、三重の美味しい食材を使ったお料理と地産地消をテーマにした食のお話を伺います。講師にお迎えしたのは、フランス料理ボンヴィヴァンの河瀬シェフと、うなぎ料理千代幸の泉店主のお2人。料理のジャンルは違えど地産地消への思いは同じ。どんな料理が提供されるのか、どんなお話が伺えるのか、五十鈴塾ならではの贅沢な講座です。

参加費 会員 10,000円 ビジター 10,500円 (食事代含む)  
講師 河瀬 毅 株式会社フランス料理ボンヴィヴァン 代表取締役  
泉 幸一郎 千代幸 店主

集合場所 ボンヴィヴァン 集合時間 10時50分 募集定員 12名

4月15日(火) 18:30~20:30 体験講座

## 「青垣香」を楽しむ

「倭は国のまほろば たたなづく青垣 山隠れる 倭しうるわし」古事記~大和は国の中で最もよいところである。重なり合った青い山々、その中にこもるようにある大和は本当に美しい~日本神話の英雄、日本武尊の辞世の歌です。天皇から東方平定を命じられ、戦いに明け暮れていた日本武尊、伊吹山の神を討取ろうと試みた時、半死半生になり、鈴鹿の能褒野辺りで命を落とします。その時の歌が「青垣香」の証歌です。眼に蘇るのは、その美しき故郷の風景だったのですね。神話の世界、日本武尊を香りで感じてみませんか。



参加費 会員 5,500円 ビジター 6,000円 (香筵料・食事代・菓子代含む)  
講師 東 堯霞 香道御家流三條西宗家 直門師範

4月22日(火) 13:30~15:00 企画講座

## 伊勢神宮と三英傑 ~信長・秀吉・家康~

二十年毎に社殿を造り替え、御神体をお遷しする神宮の式年遷宮。それが戦国時代には、120年以上もの間、途絶しました。この復興に一役買ったのが織田信長で、彼の統一事業を引き継いだ豊臣秀吉により、天正13年(1585)10月、両宮の式年遷宮が復興します。そして、次の式年遷宮を差配したのが、徳川家康でした。以上の歴史を、文献史料に基づきつつ、振り返って参りたいと思います。



参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円  
講師 多田 實道 皇學館大学 文芸学部国史学科 教授/曹洞宗神照山廣泰寺 住職

4月24日(木) 13:30~15:00 企画講座

## 伊勢神宮の何故 その4

「伊勢神宮の何故」には神宮関係者からも質問を受けるようになりました。その中の画期的な問い合わせです。一つは神宮研修所の学生からです。大御饗祭では両宮とも東西の相殿神合わせて三前分の神饌がお供えられるのに、奉幣では両宮ともに幣帛が一坐分しか奉奠されないのは何故かということです。もう一つは内宮域内には御酒殿をはじめ七社が祀りされていて、御饗祭も奉幣も通常七社をおまつりするのに、5月と8月の風日祈祭では祓所神と八百万神が足されて下六社になるのかという疑問です。祓所神と八百万神を、かつてお祭りした場所は特定できます。この二つは学術的に解明できますので、講座でお話しします。

参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円  
講師 音羽 悟 神宮司庁 広報室次長

4月25日(金) 18:00~20:00 特別講座

## 山口祭と木本祭 ~饗膳の儀~

5月にはご遷宮が始動します。まず山口祭、神宮公式サイトによれば「新宮のご用材を伐り出すにあたり、御山山の山の口に坐す神に伐採と搬出の安全を祈る」とあります。御山山は時代と共に変遷し、今は木曾に定められていますが、山口祭は今も神路山、高倉山の山麓で行われます。山口祭に先立って行われるのが饗膳の儀です。その昔、京都から来た造宮使が神宮側をもてなしたのが元と言われ、五丈殿で素朴な木の膳にご飯、魚、野菜など10を超える品目が並びます。今回は特別に饗膳と同じような料理を味わいながら山口祭と木本祭のお話を伺います。

参加費 会員 5,800円 ビジター 6,300円 (饗膳料理代含む)  
講師 千種 清美 文筆家・皇學館大学 非常勤講師  
集合場所 五十鈴塾 集合時間 17時50分 開催場所 すし久

5月8日(木) 13:30~15:00 企画講座

## 東照大権現の誕生 ~徳川家康 神になる~

江戸幕府を開いた徳川家康はその死後、東照大権現(とうしょうだいごんげん)という神号が授与され、神として祭られることになりました。この神格化の過程はどのように進められたのでしょうか。本講座ではその様相に迫ります。また、神となった「創業者」は、後世の人々にとってどのような存在だったのでしょうか。「徳川の天下」「太平の世」のなかで、神として崇められたことの意味、果たした役割についても皆さんと考えてみたいと思います。



参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円  
講師 谷戸 佑紀 皇學館大学 文芸学部国史学科 准教授

5月14日(水) 13:30~15:30 体験講座

## 小さな庭をつくろう ~苔テラリウム~

テラリウムとは、テラ【大地】とアリウム【場所】を組み合わせた造語で、近年身近に楽しめる鑑賞用の植物として人気が出てきました。その中でも“苔”テラリウムが人気で、コケは多湿を好むものが多く、植物の中でもテラリウム栽培に適した種類であるのが一つの要因です。お手入れも簡単で、長く楽しめる癒しの空間をご自分で作ってみませんか?



参加費 会員 3,000円 ビジター 3,500円 (材料代含む)  
講師 高津 文年 tk.forest株式会社 代表取締役 募集定員 14名

5月15日(木) 13:30~15:00 企画講座

## 龍と巳

今年巳年、昨年辰年でした。龍は想像の動物ですが、蛇がモデルであったとされています。山野に棲み鼠などの害獣を捕食し、脱皮をおこなう蛇は再生、可能性、豊穡の象徴とされ信仰の対象でした。インドの蛇の神が中国に伝わり、角を持ち鱗のある龍神となり、雲や雨を起こすとして八大龍王に比され、日本では水を司る龍神信仰となっていきました。日本神話の神々や八岐大蛇、大神神社の大物主神なども龍と蛇の融合したものとされています。また蛇は女性と深いかわりがあるとか。気になるお話です。

参加費 会員 1,300円 ビジター 1,800円  
講師 西山 克 京都教育大学 名誉教授

5月20日(火) 12:00~14:00 野外講座

## 創業150年 みいと織の工場見学

みいと織とは天然の藍で染められた木綿の織物で、藍の濃淡を生かした縞柄が特徴です。江戸時代には松阪商人によって江戸に運ばれたみいと織が人気となり「松阪木綿」として販売されてきました。最盛期には約千軒もあった機屋ですが、現在は御絲織物株式会社が唯一になってしまっていました。今回は人気のカフェで昼食をいただいた後、西口社長よりみいと織物についてのお話と工場案内をしていただきます。

参加費 会員 3,500円 ビジター 4,000円 (食事代含む)  
講師 西口 裕也 御絲織物株式会社 代表取締役 ※創業150周年を記念した機構コースターのお土産付きです  
集合場所 御絲織物株式会社 工場前 (多気郡明和町養川)  
集合時間 11時50分 募集定員 15名

5月27日(火) 13:30~15:00 企画講座

## 昭和から令和の御木曳

いよいよ令和7年より第63回式年遷宮の諸行事が始まります。5月には山口祭、木本祭が神宮内にておこなわれ、6月には木曾にて御袖始祭がおこなわれます。御神体を入れる御樋代木をはじめ重要な木の多くは江戸の昔より、はるか木曾から運ばれました。木曾川の水運が大切な運搬手段だったのです。「お木は木曾山山谷々超えて、清き流れの五十鈴川」と木遣り歌にも歌われているように、伊勢の人々ははるばるやってきた木を大切に曳いて社殿を建て替えました。20年に一度のお木曳を喜びと共に伝えてきた伊勢の町のお話です。

参加費 会員 1,000円 ビジター 1,500円  
講師 山中 一孝 豆腐庵山中 代表取締役

3月26日(水)・4月23日(水)・5月28日(水) 10:00~12:00 企画講座

## 楽しい俳句

わずか17文字にいろいろなことを詠みこむ俳句。難しいことをいえば貴族社会で楽しまれていた和歌に始まり連歌、俳諧となり、芭蕉が芸術にまで高めた究極の短詩です。これを生み出したのが日本人であることは世界に誇るべきことです。日本語のリズムは知らず知らずに5・7・5になっているといわれています。つまり誰もが俳句を作る下地は持っているのです。いまや世界の人々が作る俳句、一度ぜひ作ってみてください。石井先生がわかりやすくノウハウを教えてくださいます。

参加費 (各回) 会員 1,700円 ビジター 2,200円  
講師 石井 いさお 煌星俳句会 主宰